

**神奈川県立のビジターセンター指定管理者
外部評価委員会（第2回）議事録**

<質疑応答>

（D委員） 5年間人件費が同額だが、36協定を見せていただき、残業があるみたいだということは分かったが、どのくらい残業はしているのか。また、ビジターセンターかどうかはわからないが、保険料から、労災事故があったことが読み取れるので、教えてほしい。

質問ではないが、有給休暇日数が労働基準法より上回っていること、ボランティア休暇や介護休暇の制度について、素晴らしいと思う。

（申請団体） 残業代が人件費に計上されていないのではないかとすることですけれども、36協定には、上限までの設定をして、職員等から承認をいただくが、実際には、両ビジターセンターについては、時間外はない。ただ、イベントの開催や展示の入れ替えなどで、早朝や夜間など就業時間をずらして勤務する場合があります、そういう場合に、早朝夜間手当を支給している。それから労働保険の関係は、ビジターセンターではないが、事故が令和5年度においては、都市公園で19件あった。転倒によって骨折とか、外で機械を使って作業をしていることから、毎年それくらいは発生する。休業補償になったのが令和5年度は1件、その前の年が3件あった。滑って転んで骨折したりとか、機会を使って挟んでしまったりとか、ハチなどに刺されてしまうとかで、これくらいの件数になる。

（C委員） ビジターセンターの展示やインスタグラムを見たが、PRとか、魅力の発信を非常に頑張っていると思った。一方で、この施設は登山の入口となる拠点機能も求められていて、発信すればするほど間口が広がり、登ってみようかというような登山初心者も当然出てくると思う。山の危険性や登山の安全性、山との安全な付き合い方というものを積極的に発信していくことも、求められているのではないか。その辺り、資料でも見受けられるが、具体的にどういう考え方を持って、どのような取組を推進しているのかを教えてください。

（申請団体） 適正で安全な自然との接し方とか安全な登山というのは非常に基本的な情報で大切なものだと考えている。こんな危険な虫がいるとか、こういう装備が必要になるというような基本的情報を沢山、Webやホームページで発信している。秦野ビジターセンターは、公園からやや奥に位置しているので、バス停横にある休憩

所に山の情報や歩き方とか、ヒルが出る時期にはそれを避けるような塩を設置するとか、なるべく、初めての方が立ち寄れるスペースで、そうした情報を幅広く発信できるように工夫している。

(C委員) そうだと思うが、登山の事故は登っている途中で天候が急変したりとか、嵐の後で倒れそうな木があるところへ行ってしまうとか、そういうところで、事故は起こるかと思う。活用されているSNSでは、何かイベントをやりますだけじゃなくて、今日は、ここは危ないですよとか、今日の午後は天候が荒れることが予想されているので山の方で止めてくださいとか、そういうリアルタイムの発信というのはされているのか。

(申請団体) 例えば登山道の閉鎖等の情報は、リアルタイムのSNSでも発信している。また、特に西丹沢の方は、山深いところにあるので、毎朝、気象情報等の発信をする工夫をしている。山の気温は急に下がったりすることがあるので、そうした情報を毎日、発信することで、見た方に参考にしていただけるような情報発信を進めている。

(C委員) それはホームページか。

(申請団体) 大体、Xである。即時情報は、どちらのビジターセンターもXを使って、発信している。

(C委員) 外国人利用者也増加しているそうだが、それこそ外国人は分からないで、危ないところへ入ったりすることがあるかと思うが、外国人対応は具体的にはどのようなことをされているのか。

(申請団体) 例えば、ホームページは多言語化しており、パンフレットの二次元コードからホームページに飛ぶようになっていて、多言語で情報を伝えられるようにしている。ビジターセンター立ち寄った方については、ある程度簡単な会話は職員が対応するし、ポケットも準備している。登山届についても、外国人が分かるように、外国語での説明や記入例を置いている。東海自然歩道目当てで来られる方も多いので、その辺の案内も丁寧に対応している。結構、通訳の方がついてこられるので、そういう場合は通訳を中心に対応するし、1人で来られる方には職員の方で対応している。

(B委員) 経費積算内訳書だが、基本的にはこの予算でやりますということかと思うが、先ほどのD委員もお話された人件費ですが、全く同じ金額が続くと読める。両ビジターセンターとも人件費は同じ金額で推移している。今、政府は賃金を上げましようと言っており、最低賃金もこれから上がるのではないとも言われている。それが、こ

こに反映されているのか。反映されているとすれば、数字は変わるかと思うので、確認したい。

(申請団体) 県から示された人件費が5年間同額であるため、同様の対応をしているが、人件費の上昇については、考慮せざるをえないということで、パート職員の賃金については、最近5ヵ年の最低賃金の上昇率の実績から大体3パーセント上昇すると仮定して積算している。ただ、その他の職員については、同額としている。人件費を多くするために、他の予算項目を無理に減らすことはできないので、積算上はこういう形としている。

(B委員) パートについては、3パーセント程度の上昇を織り込んでいるけど、それを平均的にプロットしているということで、その他の方については、賃上げを想定していないということか。

(申請団体) 賃上げはしていく。もちろん、それは規定上なっていることなので。

(B委員) 支出にそれを反映できないのか。反映してしかるべきではないか。

(申請団体) それは、内部でもかなり議論したが、他の自治体では賃金スライド制をとっており、こここのところの急激な賃金上昇に伴って、当初の契約額とは違い、全国平均賃金が上がっていけば、賃金分については指定管理料を上げるという制度を導入しているところがある。例えば、県内と言えば、横浜市がそうである。県にもそういった積算をそもそもやっていただかないと、他の公園でも年度が後ろになればなるほど、非常に苦しい状況になっている。そうしたことやビジターセンターは人件費比率が非常に高い施設であることを踏まえて、人件費をなるべく積みたかったが、他の経費を削ると本当に仕事ができなくなってしまうという苦しい状況の中で、なるべく多く人件費を積んだというのが実態である。我々も就業規則があり、ちゃんと賃金も上げて行かなければならない状況の中で、指定管理者制度そのものの矛盾というか、そういうもので、非常に苦しんでいるのが実態である。皆さんがおっしゃるように、そういう積算はしたいところではあるが、先が読めない。もうこの積算ですら5年後、それが本当にそうなるのか不安を持ちながら、ここで提案をしている。これは、個々の施設だけでなく、他の施設にも関わる共通の課題であるという認識を持っているので、そこはある程度、今後も県と協議しながら、と思う。もちろん、人件費をきちんとお支払いするのは我々、今までもやっているし、今後も継続するが、協議をさせていただきな

がら、できる限りの提案をさせていただいたという状況である。

(事務局) 補足説明する。さまざまな積算基準が決められている中、事務レベルではかなり努力し、一定の予算は確保ができたと考えているが、そういう苦しい現状があることを踏まえ、賃金スライド制については、導入に係る検討を所管している部署に伝えている。

(委員長) ありがとうございます。そういった課題は、県全体で解決するように、と思う。

(E委員) 施設を拝見して、すごい努力があることに感心した。

図書のことでもちょっと気になったことがある。図書はものすごくたくさんあるので、どこかに倉庫があって、保管しているのかと思うのですが、目に触れるようにしていただきたいと思う。みんながよく見ているような図書はあるけど、新しいものはどうなっているのかなという感じがした。もし、お金がないというなら、寄付してもらえば、集まるのではないかという気がしている。他のところは、何も言うことはありませんが、図書の収集の仕方を考えられてはどうか。

(申請団体) 貴重なご意見、ありがとうございます。図書を集めたいと思っ
ていても、費用的な問題もあって、不十分なところもあって、これからも一生懸命集めていきたいと思っている。相模原公園にグリーンアーカイブスという施設を持っていて、そちらには貴重な資料とかを寄附していただいたりとかしているので、委員のご意見にあったような個人宅に眠っていて、寄付いただけるような工夫もしていきながら、よりよい図書環境づくりに努めていきたい。

(A委員) それぞれの専門知識を生かされた素晴らしい展示だなと思う。これからインクルーシブで触知点字もいろいろ調整されるというところで、ここはたくさん登山者の方が来られる中で、なかなかビジターセンターとインクルーシブってまだ遠いところだが、ぜひこのビジターセンターがその先進事例になっていただきたいという点と、そういった中で、フレンズ制度ができて、このビジターセンターを応援する方がたくさん増えてくると、これも盛り上がるかなと思うところで期待できる提案だと思った。